

さんのへ 議会だより



町の安心と安全を守る消防団
(1/11 三戸町消防団出初式)

第167号

平成28年2月16日発行
青森県三戸町議会

情報連携のための条例制定	2
一般質問 限界集落への対策はなど	4
視察報告 文化の薫り高い三鷹から学ぶ ...	10
委員会レポート	12

平成28年1月1日マイナンバー利用開始

情報連携のための条例制定

第463回定例会を平成27年12月3日から8日にかけて開き、条例の制定や一部改正、平成27年度補正予算など10件について審議し、すべて可決しました。

議案と質疑

番号法施行条例の制定

・庁内の社会保障、税、災害対策の各行政手続において、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の規定範囲内で情報連携を行うことを定めるもの。

質疑

通知カード返送分 取り扱い

山口議員

カードの再発行手数料はいくらか。また、返送された通知カードがどのくらいあり、その取り扱いはどうなるのか。

通知が不完全であれば、

手続等に支障が出る可能性があるが、対応はどうするのか。

住民福祉課長

再発行手数料は、通知カードが500円、個人番号カードが1000円（電子証明を発行しない場合は800円）である。

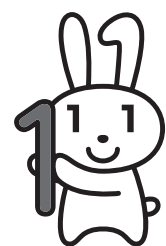
通知カードの送付総数は、4453通であり、そのうち返送は、6・8%に当たる301通である。返送分は、役場で3カ月間保管するが、その間に受け取りがない場合は、住民を捜し当てて配付するよう国から指導を受けている。町としては、可能な限り配付していきたい。

住所変更により配達できない可能性があり、手続等に支障がある場合は、役場

に届け出していただきたい。

番号法施行に伴う 関係条例の整備

・番号法の規定により、平成28年1月1日から社会保障、税、災害対策の行政手続において、個人番号並びに法人番号の利用が開始されることに伴い、申請書等に個人番号を記載する箇所を加えるなど、関係条例の一部改正を行うもの。関係条例は、三戸町町税条例等の一部を改正する条例、特



マイナンバーキャラクター
マイナちゃん

質疑

特別な事情への 対応は

山口議員

特別災害による被害者に対する町税減免の特別措置に関する条例について、身障者や寝たきり等の特別な事情により申請できない場合はどうするのか。

税務課長

詳細については規則で定めているので、個別に対応していく。

平成27年度一般会計

補正予算

1億329万円の増

・個人番号カード印字機器購入費 80万円の増

・障害者福祉費

3330万円の増

・斗川児童館費

401万円の増

・中央児童館費

186万円の増

・久川保育所費

497万円の増

・中央保育所費

919万円の増

・三戸中央病院会計繰出金

5000万円の増

・中山間地域総合整備事業負担金

1563万円の減

・道路維持費

350万円の増

・町民プール整備費

3514万円の減

質疑

臨時職員賃金

増えた理由は

佐々木議員

斗川児童館費から中央保育所費までの補正について、平成28年1月から業務

委託の保育士が臨時職員へ切り替わるのであれば、業務委託料の減額分と臨時職員賃金の増額分が同額になると思われる。臨時職員賃金が増えている理由は。

住民福祉課長

賃金単価の見直しによる単価のアップを行ったこと、また、これまでぎりぎりであった保育士の人数を増やすなど適正な人員配置を行ったことによるもの。

質疑

三戸中央病院 今後の見通しは

梅田議員

三戸中央病院への繰出金は、不良債務解消のためというところであるが、今後の見通しは。

病院事務長

冬期間は、入院患者、外来患者ともに増加が見込まれるため、予定収入は確保できるものと見込んでいます。

質疑

町民プール建設 進捗状況は

大向議員

町民プール建設工事請負費が減額となった理由と工事の進捗状況は。

教育委員会事務局長

予算と契約金額との差額を減額するもの。進捗状況は、平成28年1月末までが当初の工期であったが、復興やオリンピックの需要により、鉄骨の入荷が約2カ月遅れることになった



三戸中央病院待合室のようす



建設工事中の町民プール

め、3月25日までを工期として進めている。

平成27年度三戸中央病院 会計補正予算

・病院事業収益

3653万円の増

（医業収益1721万円の増、医業外収益374万

円の増、一般会計繰入金

5000万円の増）

質疑

一般会計繰入金 来年度は減少か

佐々木議員

年間の患者数が一般病

床、医療療養病床ともに減少したのは、看護師不足と非常勤診療科の診療日数が減少したことが理由であったが、今後改善されるのか。また、特例債の返還が今年度で終わることにより、平成28年度以降の一般会計繰入金は減少するの

か。

病院事務長

看護師等の確保ができなかったことにより、2階棟が稼働できず、患者数の減になった。平成28年4月の稼働以降は改善される見込みである。また、特例債の返還が終わることにより一般会計繰入金は減る見込みである。

質疑

繰入金を減らす 努力をしたか

梅田議員

一般会計繰入金を減らすための努力をしてきたか。

病院事務長

経費の節約等行ってきたが、医師が減るなど計画ど

おりにならなかった。今年度は診療収入増のため医師を増やすなど鋭意努力している。

その他の議案

- ・防災会議条例の改正
- ・優良雌子牛自家保留事業基金条例の改正
- ・過疎地域自立促進計画の変更

- ・平成27年度簡易水道会計補正予算1439万円の増
- ・平成27年度介護保険会計補正予算2749万円の減
- ・平成27年度国保会計補正予算3342万円の減

お問い合わせ先

マイナンバーカード（通知カード、個人番号カード）に関するお問い合わせは

住民福祉課戸籍班へ

TEL.20-1151（住民福祉課直通）

一般質問

第463回定例会における一般質問に議員6人が登壇し、町の施策について質問しました。
(町ホームページ内で動画配信しています。ぜひご覧ください。)

山口 菊男



限界集落への対策は

竹原町長

魅力ある地域づくりの応援をする

Q

都会的なものとは反対の魅力が三戸町にはある。町民の総意による施策が必要である。

① まちづくりのため、人口減少に対する町民の意見を聞く機会はあるか。

② 高齢化率、自主財源率、少子化率、人口減少で懸念される点とその対策は。

③ 具体的な移住、定住施策は。

④ 平成28年度受け入れ予定となっている地域おこし協力隊の説明を。

⑤ 当町は72の行政区に分けられ、65歳以上の高齢者が人口の50%を超えている限界集落が4つある。また、男女いづれかが50%を超えている集落が15ある。この現状から、自治体の持つべき主体性が失われている地域への対策は。

A

竹原町長

① これまで町民や事業者の意見を伺い、各種事業を展開してきた。平成28年度には町内4地区で行政懇談会を開催する予定である。

② 高齢化率が上昇すれば社会保障費が膨らみ、財政を圧迫することになり、自主財源率が下れば、実施できる事業の自由度が低下する。また、人口減少により農林商工業の後継者不足や商品が売れなくなる等、経済活動の低下による町の活力低下が懸念される。

今年度人口減少対策として町総合戦略を策定した。若年層を対象とした移住、定住施策を柱とし、5年間で各種事業を実施する。また、当面高齢者人口が増加する見込みのため、介護予防活動支援事業等の実施による健康寿命の延伸を図る。

環境づくりに取り組んでいく。

藤村副町長

③ お試し暮らし住宅の整備、住宅建築のリフォーム助成、借家賃の助成、奨学金の返済助成、空き家を活用した定住の助成、定住相談の部署設置といったもののほかこれまで実施してきた事業も拡充していく。

竹原町長

④ 町の幹部職員として、国家公務員または大学教授等の採用準備をしている。

⑤ 各集落で持てる資源、能力を十分に発揮できる事業に取り組んでいただきたい。魅力ある地域づくりのための応援をしていく。

町の観光振興

どう考える

Q

① 春夏秋冬さまざまなイベントを行っているが、観光客が減少している。観光振興を。

② 秋まつりは山車の数も9台に減少し、さらに減る



さんのへ春まつり開催中の城山公園

見通しである。人口減少により維持、運営、制作費捻出が困難となっているため、奨励制作等の対応を。

③ 各種まつりに新鮮味がないという声に対し、観光振興をどう図るのか。

④ 城山公園の観光は、桜まつりだけでなく春夏秋冬の観光にするべきでは。

⑤ 食の味力新発見による観光振興策を。商品開発や販売等の研修をしては。

A

竹原町長

① NPO法人化した観光協会が、「街歩き観光」をスタートさせ、活性化してきているため、町も積極的に支援していく。

② 秋まつりは、今の時代にあった運営方法について観光協会や町内会と検討する。

③ 春まつりのイベントは、観光協会と協議する。秋まつりは、伝統行事のため、イベント性を持たせて新鮮味を与えるよう関係団体と話し合っていく。

④ 城山公園が国の史跡に指定されれば、歴史ファン、お城のファンがこれまで以上に訪れる。町民にとつては憩いの場、歴史ファンにとっては史跡公園として整備していく。

⑤ 食による集客力は非常に大きい。商工会で開発した「3色つつけ」や観光協会が発売した「ナンぽカレー」がマスコミ紙面をにぎわしている。新しいアイデアには積極的に支援し、各種団体に限らず、広く研修する機会を検討していく。



環境保全のための新たな事業計画は

竹原 町長

ごみ収集地域の拡大や不法投棄の撤去を計画し
安心して生活できる環境づくりに努める

Q

① 環境保全のための新たな事業計画があるか。

② 沼尻付近の国道4号沿いにある旧ドライブイン等の廃屋は、空き家対策の対象か。

③ 9月定例会で可決された航空写真撮影業務委託料について、その後の説明がないのはなぜか。

A

竹原町長

④ 板沢の国道4号沿いにペットボトルや電化製品を積み上げている状況をなぜ放置しているのか。

改めて報告する。
④ 原因者は住所不明の上、春ごろから連絡がとれない。環境保全上の問題や美観など配慮するため、引き続き原因者の所在調査を進めていく。

① 一般家庭ごみ収集地域の拡大や不法投棄された廃棄物の撤去を計画し、安心して生活できる環境づくりに努めていく。

② 現地調査の結果と国の指針に基づき、廃屋が空き家対策の対象になるか判定する。

③ 10月上旬に業務委託契約を締結し、中旬に撮影を実施した。現在は写真の補正作業中である。当初説明したスケジュールどおり作業を進めており、完成後は

⑤ 不法投棄は原因者不明のため、各団体の協力のもと撤去している。板沢の場合は、原因者が特定できているため不法投棄にはならず、その原因者が撤去することになる。

竹原町長

住民福祉課長
町では、県や警察と相談し、原因者に対し、3者で撤去をお願いしてきた。また、町の担当者は、携帯電話や直接の面談で連絡をとっていた。

町立版画工房 三戸学園へ移設を

Q

① 小中一貫三戸学園への移設を含めた版画工房の今後の対応は。

② 版画作品は何点あり、これまで制作された作品の扱いをどう考えているか。

③ 講師が三戸学園へ行つて指導しているのであれば、版画工房にある機械を三戸学園で使えるように検討すべきでは。

A

友田教育長

① 版画制作に活用している大型印刷機械は、小学生にとって危険なた

め、移設は考えていない。今後は、版画工房利用者が講師となり三戸学園で行っている指導を継続し、公民館講座などでは版画に親しむ機会の確保を検討する。

教育委員会事務局長

② 作品は270点あり、役場議会棟廊下、三戸中央病院廊下、アップルドームふろさと館に展示している。展示替えを行い、新たな作品をお目にかきたい。

友田教育長

③ 大型機械は重く、危険であり、三戸学園にはスペースがない。また、使用する溶剤は低学年にとって好ましいものではないため、版画工房に来て制作活動をしていただきたい。

町立版画工房

平成4年に町立現代版画研究所として開設。平成21年度に運営を休止したが、平成22年度から町立版画工房と名称を改め再開。



町立版画工房



旧ドライブインの廃屋



城山公園、四季を通じた名所へ

町長 竹原

1年を通じて人々が訪れる公園づくりを行う

Q

① 三戸城の史跡調査の予算を増額し、大々的に進めては。

② 桜の名所としては寂しい城山公園であるが、四季を通じてのイベント開催や誘客についての考えは。また、結婚や誕生記念樹として植樹させては。

③ 城山公園で盆踊り大会や探鳥会の開催、イルミネーションの設置といった考えは。

④ 個性あるまちづくりと歴史にまつわる案内板設置を。

A

友田教育長

① 今年度、教育委員会に文化財保護班を設け、三戸城跡の史跡指定を目指した準備作業を開始した。さらなる歴史の解明に努めていく。

竹原町長

調査規模に応じた予算を組んでいる。大々的な調査が必要になれば、予算を確保する。
② 城山公園が三戸城跡として国の史跡に指定されれば、訪れる人も多くなる。

Q

① 過去10年間、陳情等の採択による道路整備の実施状況は。

② 一部事務組合や各種団体に対する負担金及び運営費補助の検証が必要では。

③ 一部事務組合に対する町負担分は、人口減少していても応分の負担がある。このまま構成市町村でいいか。

④ まちづくり活性化に取り組んでいる先進町村や民間企業のノウハウを生かし住民がまちづくりに協力している町村へ職員派遣しては。

A

竹原町長

① 道路整備に関する陳情等の採択件数は15件であり、そのうち整備済みが3件である。道路整備計画の優先順位に従って進めていく。

② 一部事務組合については、構成市町村との協議過程において慎重に審議されている。各種団体への補助



三戸地区環境整備事務組合で運営しているクリーンセンター

金等は、当初予算編成時に事業点検や評価を実施している。

③ 負担金は人口割等により決まるため、増えないものと考えられる。町単独では負担が大きい場合、一部事務組合で取り組むのがベストである。

④ 青森県庁に1人派遣中であり、町の仕事そのものに影響が出ないよう、状況等を考慮しながらまちづくりに寄与する職員の人材育成を図っていく。



たくさんの人でにぎわう城山公園



連携校の斗川小学校を

一校へ移行すべきでは

友田
教育長

不登校の解消、学校評議員の要望により

当面は連携校で進める



斗川小学校の授業風景

Q

① 小中一貫教育において、斗川小学校のみが連携校である。一校へ移行するべきでは。

② 斗川小学校を残す明確な理由は、

A

友田教育長

③ 学校評議員等の連携校継続要望は、教育委員会の方針を示した上で協議したか。

④ 平成27年度の児童数見

② 連携校となって不登校が解消されたこと、今後4、5年は児童数が減少しないこと、学校評議員の要望があるといったことである。

教育委員会事務局長

③ 学校評議員会は、教育委員会が参加しない会議であり、要望は報告書に載っていたものである。

④ 人口の変動と指定校の変更制度により斗川小学校学区から三戸小学校へ通っている児童が10人いることが要因。

友田教育長

⑤ 教員配置の関係上、6月頃には翌年の児童数を報告しなければならぬため、当面は連携校で進める。

雇用の創出

具体的施策を

Q

① 町の活性化、人口減少等に関し、これまで以上の取り組みを。

② 専門家や住民の意見を反映した施策を。

③ 若者、子育て世代のために住環境の整備を。

④ 企業誘致、雇用の創出に関して、総合戦略以外の具体的な施策を。

⑤ 総合戦略だけでは不十分である。町を越えた近隣市町村で取り組むことも必要では。

A 竹原町長

① 今年度策定した町総合戦略において、11の新規事業と小中学生医療費助成事業の拡充を実施する。

② 平成28年度は行政懇談会で意見を聞き、全庁挙げて事業に取り組む。

③ 当町には貸し家、アパートが整備されているので、空き家にならないような施策が必要である。

④ 企業誘致に関しては、総合戦略に関係なく日常的に取り組んでいく。

⑤ 近隣市町村で協力、情報交換を行っており、より緊密な連携を考えている。

三戸町総合戦略

今後5力年の目標や施策の基本的方向・具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生三戸町総合戦略」を策定しました。

人口の社会減と自然減への対策として、次の主要な政策を掲げ、対応する各事業を実施することとしております。

1. 安定した雇用を創出する
2. 新しい人の流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 誰もが笑顔で元気に暮らすまち

※詳細は、町のホームページに掲載しています



女性が管理職として働くための支援は

竹原町長

研修機会の付与など、キャリア支援を行う

Q

① 女性活躍推進法
施行に伴い、三戸町
役場の取り組みは。

② 勤務者、役職者の女性
割合は。また、昇進の機会
は男女の別なく同等か。

③ 女性が管理職として働
くために必要な支援と環境
整備は何か。

④ キャリア支援の内容
は。

⑤ 研修機会を取得する方
法は。

⑥ 女性割合を増やす目標
設定等考えているか。

A

竹原町長

① 主に次の3つの
取り組みに力を入れる。

1. 職務経験の蓄積を促進
するキャリア形成支援

2. 登用

3. 家事、育児や介護しな
がら活躍できる職場環境の

整備

② 全体では29・2%、管
理職では18・8%である。

昇進は、男女別の差異はな
く、職務における能力と実
績で任用している。

③ 家庭と仕事を両立でき
る育児休業、介護救護制度

を利用していただきたい。
また、研修機会の付与など、
キャリア支援を行う。

総務課長

④ 育児、介護休業等によ
る職務経験不足を補うた
め、研修に参加させ、管理

女性活躍推進法の概要

自らの意思によって職業生活を営み、又は
営もうとする女性の個性と能力が発揮されるた
め、以下を基本原則として、女性の職業生活に
おける活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実
現を図る。

1. 女性に対する採用、昇進等の機会の積
極的な提供及びその活用
2. 職業生活と家庭生活との両立を図るた
めに必要な環境の整備
3. 女性の職業生活と家庭生活との両立に
関し、本人の意思が尊重されるべきこと

職登用までの育成を後押し
するもの。

⑤ 全職員に周知し、希望
する職員を派遣している。

⑥ 平成28年4月1日まで
に女性の採用比率、管理職

比率等を踏まえ、定量的目
標や取り組みを内容とする

事業主行動計画の策定、公
表が義務づけられている。

空き家調査

現在の状況は

Q

① 空き家調査の進
行状況の説明を。

② 事前調査の方法とそれ
に係る報酬は。

A

竹原町長

① 10月中旬に業務
委託契約締結。調査工程は、
現地調査することになる家
屋等を特定するための事前
調査、調査員による現地調
査、調査結果の取りまとめ、
データベースの整備となっ
ており、2月中の完了を目
指している。現在は、事前
調査中である。



まちづくり推進課長

11月末現在、24町内会中
21町内会から283棟の空
き家の情報提供があり、98
棟については現地調査完了
という状況である。現在も
調査が進行中であり、徐々
に取りまとめていく。
② 調査方法は、全町内会
長を対象に説明会を開催
し、各町内会で把握してい
る空き家情報を集め、まと
めたものを提供いただくこ
ういう形でお願いした。報酬
等はない。



老朽化した町営住宅の改修計画は

竹原 町長

住宅更新コスト削減に向けた維持管理に努める

Q

町営住宅の現状について。

- ① 管理戸数と実際の入居戸数、入居待機世帯数は。
- ② 改修の実施状況と今後の改修計画は。
- ③ 入居収入基準超過世帯数は。また、入居者からの主な意見は。
- ④ 入居待機世帯への対応は。

A

竹原町長

- ① 管理戸数231戸のうち入居戸数は181戸、閉鎖戸数は50戸。入居待機世帯数は30世帯である。
- ② 入居者からの修繕依頼箇所のほか、側溝や道路維持補修を実施。また、老朽化を抑制し、長寿命化を図るための維持修繕を実施した。今後は、住宅更新コスト削減に向けた維持管理に

⑤ 築50年以上経過している町営住宅の割合は。また、建て替え計画は。

⑥ 収入基準超過世帯への対応は。

⑦ 老朽化した町営住宅入居者は、町が民間業者と提携した貸し家に家賃の助成を受けながら居住するというのどうか。

⑤ 努める。

③ 11世帯である。意見としては、浴室、台所等の衛生設備や断熱性の向上を求められている。

建設課長

④ 町営住宅が空き次第、状態を見て順次入居していただく。

⑤ 全体の約8割である。三戸町公営住宅等長寿命化計画に基づき、建て替えを進める。

⑥ 公営住宅法の規定で、収入基準超過が2年以上続いた場合は退去のお願いをすることになるが、当町は該当者なし。

竹原町長

⑦ 移住、定住等考慮しながら検討していく。

町長自ら

トップセールスを

Q

当町には、農産物や良い商品がある。

① 町長のトップセールスが重要であり、今後の売り込み機会はあるか。

② 町単独で売り込む施策を考えているか。

③ アンテナショップの開設は考えているか。

A

竹原町長

① これまで首都圏で行われた青森県フェアへ参加してきた。今後もイベ

ントへ参加し、農産物や特産品についてトップセールスしていく。

② 移住定住促進ポータルサイト・動画作成運用事業により全国に発信するサイトや総務省が設置する全国移住ナビに掲載する動画を制作中であり、町のPRになると考えている。そのほか各企業の訪問や在京三戸会等で町のPRを要請している。

③ アンテナショップの開設は非常に大きな事業になるため、十分な検討と研究をさせていただきたい。



青森県フェアで三村知事とともに町をPR

鷹三、高い薫りから学ぶ

多くの作家や芸術家に愛され、市民の芸術文化活動が活発に行われている三鷹市からはホールの管理運営について、また、町の情報発信や特産品等の販路拡大を目的とした施設「アンテナショップ」からは運営について、全議員で視察を行いました。

教育、人材の育成、芸術文化の向上へ
三鷹市芸術文化センター

まとめ

センター概要

総工費約80億円。音楽、演劇、美術の発信施設として建設されました。2つのホール、美術展示・創作室、音楽練習室、会議室があり、芸術文化活動に限定した貸し出しでありましたが、利用率はセンター全体で見ると100%でした。

建設から20年経過している施設でありましたが、設備等すばらしいものがありました。「文化の薫り高い三鷹」にふさわしい地域の発展と市民の芸術文化に対する志向の高さを感じられ、施設の役割を十分果たしていることがわかりました。

当町の教育、人材育成、芸術文化の向上へ結びつく参考になる視察となりました。



気品とぬくもりに満ちた「風のホール」

目的

体育館や公民館などの町の施設が老朽化している状況から、文化施設の建設、運営について学ぶため、三鷹市芸術文化センターを訪れました。

三鷹市の紹介

全国初の下水道普及率100%達成など先進的な事業を数多く展開し、名誉市民に武者小路実篤、山本有三、宮崎駿などの有名人が多数いる芸術文化が発展した地域です。



センター職員に案内され施設見学

■ 視察日／平成27年11月27日～28日

視察地と内容

- 東京都三鷹市……三鷹市芸術文化センター
「ホールの建設、管理運営状況について」
- 東京都千代田区…あおもり北彩館東京店
東京都港区……アンテナショップ青森県たっこまち
「アンテナショップの運営について」



あおもり北彩館東京店

運営状況の説明を受ける

目的

当町の魅力や情報を発信し、特産品の販路を拡大するための1つの方法として、アンテナショップが考えられることから、運営について学ぶため、2つのアンテナショップを訪問しました。

店舗の概要

【あおもり北彩館東京店】
JR飯田橋駅前の青森県会館1階にあり、(株)あおもり北彩館が運営。県内各地の特産品が約1000点販売されていました。三戸町の商品は4点のみでした。店舗内には青森県の観光案内所が設置され、県全体の情報発信をしています。

「さんのへ」の魅力アピールへ

あおもり北彩館東京店、アンテナショップ青森県たっこまち



アンテナショップ青森県たっこまち

落ち着いた店内に特産品が並ぶ

【アンテナショップ青森県たっこまち】
JR新橋駅前のカレッタ汐留地下2階にあり、平成27年9月28日オープン。のショップです。実施主体は田子町商工会、販売業務は(株)ナチュラルアートへ委託。店舗内には田子町の特産品が並べられ、PRもされています。2年前にプロジェクト委員会を立ち上げ、検討を重ねてショップ開設に至ったようです。

まとめ

あおもり北彩館には、三戸町の商品が少なく、加工品等の商品開発に取り組む必要性を強く感じました。よい商品があることで、「さんのへ」の魅力アピールにつながり、町の認知度がアップすると考えられます。田子町の事業は参考となるもので、アンテナショップは有効な手段であることを認識しました。

委員会レポート

議会には3つの常任委員会があり、議員はそのいずれかに所属しています。各委員会は、議会が閉会している間に担当分野について調査し、その結果を議会で報告します。

総務文教常任委員会

分団統合も検討し 維持管理費の負担軽減を

◇平成27年11月17日、消防団の管理運営状況について、消防団幹部と合同で現地調査しました。



小型動力ポンプ付積載車が更新される第4分団

〔調査箇所〕
各分団からの施設・設備等に関する要望を基に調査を実施。

- ・第4分団（川代）
- ・第7分団（泉山）
- ・第10分団（下目時）
- ・第11分団（上目時）



老朽化が激しい第14分団屯所

- ・第12分団（豊川）
- ・第14分団（大舌）

〔調査結果・意見〕

・各分団からの新設、改善等の要望は、費用を調査の上、検討していただきたい。

・分団の統合を検討し、施設・設備等の維持管理費用の負担軽減を。

・全消防団員の安全確保のため、段階的に安全靴の支給を。

民生商工常任委員会

子どもから高齢者まで幅広く利用 町は継続して支援を



あいさつする藤村駅長（道の駅さんのへ）

◇平成27年10月15日、「道の駅さんのへ」及び「まちの楽校」の運営状況について、現地調査しました。

〔調査箇所〕

- ・道の駅さんのへ
- ・まちの楽校

〔調査結果・意見〕

○道の駅さんのへ

・観光客やドライバーの休憩場

所という観点から、トイレの洋式化と屋根付き喫煙所の設置を。
・パークゴルフ場からの連絡通路設置により収益アップを図り、指定管理料の減額に努めよ。

○まちの楽校

・高齢者に限らず、子育て支援の分野でも利用する価値あり。コミュニティの場として施設を提供し、宅配事業も行っているため、継続して町が支援を。



囲碁を楽しむ利用者（まちの楽校）

安全な水を供給するため 原水の確保等適正管理を



杉沢地区簡易水道原水の状況調査

〔調査結果・意見〕

- ・簡易水道について、安全な水の安定供給のため、原水の確保等適正管理を。
- ・農作物は順調である。台風の動向に注意し、適宜対策を。
- ・パークゴルフ場は、急がず着実な整備を。

◇平成27年9月24日、簡易水道の管理状況、農作物の生育状況及びパークゴルフ場の整備状況について、現地調査しました。

〔調査箇所〕

- ・簡易水道の状況（杉沢地区）
- ・水稻生育（杉沢・斗内地区）
- ・リンゴ生育（泉山地区）
- ・パークゴルフ場整備



リンゴ生育調査

寿教室の皆さんが 議会の傍聴へ

高齢者の生きがいと健康の推進を目指し、さまざまな学習会を開催している三戸町高齢者学級寿教室から、49人の皆さんが議会の一般質問を傍聴されました。傍聴後にご意見をいただきました。（紙面の都合上、一部のみ掲載）

陳情の審査

【民生商工常任委員会】

若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情

↓継続審査

【建設農林常任委員会】

町道柳沢1号線の道路改良に関わる陳情書

↓採択

町道下道2号線の拡張、舗装整備に関する陳情書

↓採択

・活発な意見を聞け、町長はじめ議員の取り組みがわかりました。

（70代女性）

・高齢化、過疎化がどんどん進む町の実態を直視した活性化に向けた斬新な意見があってもよいのではないか。

（80代女性）

・三戸町民が幸せになりますように頑張っていたきたい。

（70代女性）

・3年前から聞いていますが、今日は議員の質問がよかった。

（70代女性）

貴重なご意見ありがとうございました。



寿教室の皆さん

逝去 議長 館 衛



謹んでご冥福をお祈り申し上げます

平成28年1月25日、急病により館衛議長がご逝去されました。

平成22年5月の町議会議員補欠選挙で初当選され、平成24年3月から第18代議長に就任されました。

人口問題への取り組み

地方創生を学ぶ



不法投棄現場の現地視察

の現地視察をしました。
その後、講演会が開かれ、地方創生の動向と「一億総活躍」新・3本の矢について学びました。

(演題)
「地方創生の最新動向」
黒瀬 敏文 氏
(総務省地域力創造グループ地域自立応援課長)

◇平成27年10月16日、第17回定住自立圏の形成に関する勉強会が田子町タプコピアンプラザにおいて開催され、当町議会議員が出席しました。
勉強会では、ニンニクの萌芽を抑制し、冬眠状態で貯蔵することにより品質を保つニンニク専用CA冷蔵庫と植樹により環境再生事業の取り組みをしている県境産業廃棄物不法投棄現場



講演会のようす

圏域全体の活性化を

◇平成27年11月6日、三戸郡町村議会議員研修会が住谷野「鴛鴦殿」において開催されました。

研修会では、八戸市長による講演があり、八戸市が取り組んでいるまちづくりの事業概要や定住自立圏における圏域全体の活性化を図る取り組みについて学びました。

まちづくり事業の内容と

しては、東日本大震災後に18の災害協定を締結したり、八戸三社大祭のユネスコ文化遺産登録を目指して誘客を推進するなどといったことでした。

(演題)
「八戸市のまちづくりと広域連携」について
小林 眞氏
(八戸市長)



八戸市長による講演

3月議会のお知らせ(予定)

- 3/22(火)・組織会
- 3/23(水)・町長からの議案説明
- 3/24(木)・一般質問
- 3/25(金)・一般質問(予備日)
・議案審議、採決
- 3/26(土)～27(日) 休会
- 3/28(月)～29(火)
・予算特別委員会

開会予定日は**3月22日**です。



3月6日(日)は
三戸町議会議員
一般選挙の投票日です

投票時間

町内の全投票所において
午前7時～午後7時まで

※投票終了時刻が早まりますのでご注意ください。

期日前投票

平成28年3月2日(水)～5日(土)
午前8時30分～午後8時
場所：三戸町役場1階

あとがき

二宮尊徳(金次郎)は、約200年前、幕末の財政が破綻した厳しい時代に財政再建し、復興の仕法を各分野で行い、成果を挙げた人物です。金次郎は、分度をわきまえ、勤・儉・譲を守り生活することで必ずや豊かな生活と人生が与えられ、世の中が円満になると教えています。勤は「勤労」、儉は「儉約」、譲は「譲与」で、努力するものは報われ周囲に感謝し喜びを示す。我々がこれまで生活してきた人生は、飽食、消費の時代にあって、3つのうち欠けているものはないでしょうか。「報徳精神」をいま一度学び、将来の指針にすべきではと感じました。(山口)

平成28年2月
議会広報編集委員会
委員長 坂本 勝克
副委員長 梅田 悦子
委員 北 向 敦
山 口 菊 恵
澤 田 恵